

一般質問



中西 庸介 議員
(新政会)



湯元の広場にある涌浦乃湯壺

■和倉温泉の復旧に向けての現況について

和倉温泉へ対する思いを伺う！

質

和倉を取り巻く環境は大変厳しく、経済も破綻状況である。和倉に出入りをしている食料関係、飲料関係、その他多くの関係者からも悲鳴を聞く。市長の和倉に対する強い思いを伺う。

また、6月の議案において、和倉温泉に関連した案件があまり反映されていないのではないか。そのことについても所見を伺う。

答

和倉温泉は当市のみならず、能登の観光の拠点であり、和倉温泉の復興なくして能登の復興はないという思いで取り組んでいる。これまでも護岸や道路などの大規模な復旧工事や旅館の公費解体などについて、国・県の協力も得ながら進めている。

また、今年度の当初予算で、和倉温泉運動公園、多目的グラウンドやテニスコート、ヨットハーバー、そして、和倉温泉湯つ足りパークなどの観光交流施設の復旧工事を計上し、それを着実に進めている。今後も、Sea級グルメ全国大会やわくら千年桜プロジェクトなど復興に係るイベントの実施や誘客促進など、にぎわい創出に向けた様々な取組を行い、引き続き一日も早い和倉温泉の復旧・復興に向けて、強い気持ちで取り組んでいきたいと考えている。

一般質問



西川 英伸 議員
(市民クラブ)



■住まいの課題について

公費解体における関係者の情報共有を！

質

罹災証明を基に市、災害総合支援窓口、構造物解体協会の元請業者、現場に来る下請業者、この間で意思の疎通がもつと図られるべきだと考える。公費解体の進め方について、石川県構造物解体協会との連携をはじめ、市民への説明はどのように行っているのか伺う。

答

申請書類の審査を受理した後、申請者御本人による立会いをいただし、解体対象物の特定、工事費積算のための測量などを行う事前立会いを実施している。事前立会いの結果により、申請内容の修正・変更などが生ずるもの、周辺状況によって直ちに解体ができないような事案もある。

また、工事費用の積算については、日本補償コンサルタント復興支援協会からの算定内容をいただいて、それが適正であるかどうかを確認できたものから、石川県構造物解体協会に対して、アスベスト調査、解体撤去を指示する流れとなっている。

構造物解体協会では、市からの指示書に基づいて、順次、アスベスト調査を実施するとともに、申請者との間で工事着手日程の調整、解体に係る諸手続の準備が整い次第、解体に着手しているところである。今、申し上げた流れについては、つかさつかさで申請者の方に案内をしているところであり、引き続き申請者にとって分かりやすい案内に努めていきたい。

申請の受理から解体に着手、完了するまで、いろんな方々が携わるので、情報共有ということは当然であり、今後もしっかりと取り組んでいきたい。